

西尾 洋 公開講座

「楽譜の向こう側～独創的な演奏表現をめざして」

『楽譜の向こう側』に書かれている内容をわかりやすく解説していきます。

●講座内容

『楽譜の向こう側』

1. 音階に意味がある
2. 音程に意味がある
3. 調に意味がある
4. 和音に意味がある
5. 拍子に意味がある
6. 形式に意味がある
7. 様式に意味がある
8. 楽語に意味がある
9. 歌詞に意味がある
10. 音型に意味がある
11. 強弱に意味がある
12. 休符に意味がある
13. 譜表に意味がある

楽譜を「分析」してそれをどう「解釈」するのか、楽典を切り口に、楽譜に書かれていること、書かれなかったことを読み解き、独創的な演奏につなげる方法を考える読譜の入門講座。「あなたは、なぜそう弾くのか?」「なぜ作曲者はそう書いたのか?」「そして、あなたはそれをどう理解したのか?」——楽譜に書かれたものだけでなく、その背後にある「意味」を、自ら探り、学びとることで、表現は説得力をもち、それが独創的な表現につながっていきます。この講座では、そのためのさまざまな可能性の探り方を、具体的な譜例や音源を多数挙げながらご紹介いたします。

西尾 洋
(にしお・よう)



作曲家。1977年埼玉県生まれ。ヤマハ音楽教室でピアノと作曲を学び、東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校作曲専攻を経て、同大学作曲科を3度の落第のち中退。リュウベック（ドイツ）音楽大学卒業後、同大学院作曲専攻を審査員満場一致の最優秀の成績にて修了。滞独中にDAADドイツ学術交流会奨学金を得る。作品はNDR北ドイツ放送局ラジオで放送されたほか、キール・シフレン音楽祭、ハンブルク音楽大学、ハイデルベルク大学、リュウベック市内各教会などで初演。ディー・トーンクンスト誌に論評執筆（独語）。2014年ピティナJr. G級のためのマスタークラス講師。同年スイス、バーゼルにおける日本・スイス国交樹立150周年記念演奏会で委嘱作品初演。2015年、日本ソルフェージュ研究協議会で研究発表。イソリズム技法による作曲法とともに、演奏時間15分超の1フレーズから成るヴァイオリン独奏曲「阿吽」（2007）以降、定旋律変奏様式を応用した作曲技法の可能性を追求。音楽理論分野では主にルネサンスとバロック時代の作曲技法を研究。上野学園大学准教授（音楽基礎科目部会主任）、同大学音楽文化研究センター研究員、同音楽教室長。ヤマハマスタークラス特別コース講師（総合音楽科）、ヤマハ音楽能力検定試験官。日本ソルフェージュ研究協議会理事。全日本ピアノ指導者協会指導者育成委員。日本現代音楽協会、日本・ロシア音楽家協会会員。著書「応用楽典 楽譜の向こう側」（2013年、音楽之友社）。論文「演奏表現に直結するソルフェージュ教育～日仏独の比較を通して」（2015年）。

●日時

2016年 12月 8日(木)

10:00 ~ 12:00

●会場

ピアノハープ社 ピアノギャラリー

●受講料

熊本バスティン研究会会員: 2,500円

一般: 3,000円

●テキスト

「応用楽典 楽譜の向こう側」西尾 洋 著

(音楽之友社)

*当日会場でも販売いたします。

●お問合せ・お申込み先

(株)ピアノハープ社

〒862-0920 熊本市東区月出6丁目3-20

TEL. 096-386-8248

FAX 096-386-8250

主催: 熊本バスティン研究会

キリトリ線

(株)ピアノハープ社 行 FAX: 096-386-8250

申込日 月 日

西尾洋 公開講座

2016年 12月 8日(木)

楽譜の向こう側

申込書

お名前			
ご住所	〒		
TEL		FAX	
E-Mail			
種別	会員 ・ 一般		

※〇印をおつけください。ご記入いただいたお客様の個人情報は、この講座の控えとしてのみ使用させていただきます。